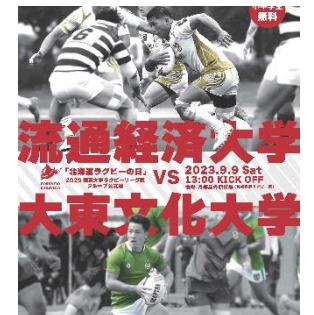


関東大学ラグビー リーグ戦グループ公式戦 **流通経済大学 VS 大東文化大学 2023.09.09**



試合報告

ミッション

関東協会主催の公式戦を、月寒ラグビー場において、北海道協会主体の運営で行う。

レポート

■運営体制

関東協会が定めたマニュアルに従って、北海道協会の各委員会(競技・レフリー・社会人クラブ)、札幌支部高校委員会が協力して進めた。レフリーは前座試合を含め12名、ドクター2名、担架係6名、チケットや会場整備18名、ボールボーイ・得点板10名等の運営要員を確保した。

■前座試合

前座試合(東京朝鮮高校 vs 札幌山の手高校)を行ったが、ロッカールームが狭いため、体育館の多目的室の使用やシャワールームを試合前練習の時間帯に使用する等の対応を行った。この前座試合に合わせてスタジアム開場時間を設定したのでサポートメンバー(特に入場券確認や当日券販売)の拘束時間が長時間となった。

■エスコートキッズ、得点掲示板

エスコートキッズを伴っての選手入場が復活した。ラグビースクールから33名が参加した。得点掲示板やトライ確認・伝令などは札幌南高校のラグビー部員が担当した。本部との連絡はインカムなどを使用して進めた。

■チアリーディング

試合前、ハーフタイムに大麻高校チアリーディングによる演舞を行った。

■バリアフリー化

エレベーター設備がないため身体障がい者の観覧場所がスタンドに設置できず、毎回グラウンドの本部テント横となっている。

■開催情報など

関東協会から派遣された事務局メンバーから試合結果の速報や入場者の報告などについて指示があり、滞りなく進めることができた。

■場外イベント

両校がOB窓口用のテントを設置した。正面側とバックスタンド入口にキッチンカーなど売店を計3か所配置した



協会広報委員長の指導を受けながら場内アナウンスをする学生スタッフ



会場を一体にする大麻高校チアリーディング



エスコートキッズ復活

南北北海道大会決勝戦 2023.10.01



試合報告 高校決勝、初のドーム開催



スポーツニッポンの紙面より

ミッション

花園予選決勝を初めて札幌ドームで開催した。全国を目指す高校生に、予選決勝でも夢の舞台で闘ってもらおう。

レポート

1回戦、2回戦(準決勝)を定山溪で行い、決勝のみを札幌ドームで行うという初めての開催方法で行った。札幌ドームで決勝開催ということで選手は高いモチベーションを得ることができた。定山溪と札幌ドームという異なる会場で開催をしたことで以下のような点に違いが生じた。

- ① 本部の設営方法(記録員、戦評記録員、レフリー、ドクター・担架要員の席確保)
- ② ベンチ入り選手・スタッフの人数制限
- ③ ボールボーイ、担架要員の配置(当番校の生徒が役割を担ったが大きなトラブルはなし)
- ④ グラウンドと放送席の連携
- ⑤ 試合前練習場所(ブルペンを利用)、グラウンド練習の時間帯(20分間という短時間)
- ⑥ 表彰式手順やインタビューの場所

当番校と高校委員会、北海道協会の役割分担と連携が重要である。費用の関係があり札幌ドーム専属のイベント設営会社「北海道シミズ」を十分に配置できなかったが、高校専門部の協力があり、スムーズな応援団の交代等、適切な運営ができた。また、女子U18セレクション試合を前座として実施したが、公式戦の開場時間との兼ね合いで出場選手の関係者のみの入場となった。

北大、南大会開催のインターバルをもう少し確保できれば、試合前練習や試合後のインタビューなどの運営に余裕ができたと思われる。

観戦の有料化などについては、他府県での実例やエスコンでの高校野球予選準決勝・決勝も参考に必要がある。

FRIENDSHIP MATCH 東京サントリーサンゴリアス VS ATC ブランビーズ 2023.10.07



運営報告

ミッション

北海道協会とマインドシェア社、札幌市等が連携して運営
チームサポーターやラグビーファンなど観客サービスに力点を置いた運営
採算面ではブランビーズの渡航費が大きな負担

レポート

マインドシェア社のリードにより定期的な打合せを実施し、タスクの確認と実行ができた。
試合前ラグビー交流会・練習見学、サンゴリアス&ブランビーズタイム、アフターマッチファンク
ション等、選手とサポーター、ファンの交流の場が多くあった。選手を身近に感じることができた
笑顔がいっぱいの子供たちの姿は、次戦以降の大会企画・運営の参考になった。一方、グラウ
ンドに入る観客や子供たちの対応や警備要員の確保も重要である。
ゲームは WR※ルールをベースにしたが、交代等はフレンドシップマッチの特別ルールであっ
たため選手交代の記録や放送席との連携に手間取った。
非公式戦であるフレンドシップマッチのため、TMO※を実施しなかったのでジュディシャルオ
フィサーやサイディングコミッショナーなどの配置はしなかった。また、HIA※も行わず頭部打
撲はマッチドクターの判断で進めた。

JRLO※の公式戦の場合はこれらの手順が必須となるため、関係ドクターの確保のほか、ビジョ
ンへの反映や時間管理等の作業が追加されるため、進め方の確認と要員確保が必要となる。
ブランビーズは、10/1~10/8(7泊8日<機中1泊>)という行程で、定山溪での練習やBBQな
どの間に市内観光を織り交ぜるなど札幌ライフも満喫していた。練習会場の段取りや準備も相
応に大変であった。

WR※	ワールドラグビー	各国協会(ユニオン)世界統括団体
TMO※	テレビマッチオフィシャル	ビデオ判定によるレフリングサポートの仕組み
HIA※	ヘッドインジュリーアセスメント	脳震盪確認のため10分間退場して診断を受ける制度
JRLO※	ジャパンラグビーリーグワン	日本のユニオンラグビー所属チームによる競技大会



ノーサイドの風景



試合後のピッチ上で行われたファンとの交流

広報報告

▼新聞広告(一部抜粋)



▼北海道新聞 9月8日(金)朝刊半5段



▼テレビCM



その他

読売新聞北海道版 10月2日(月)朝刊全5段

スポーツ報知 10月3日(火) 全5段

ミッション

ワールドカップ期間中で、しかも非公式戦という逆風を克服して、札幌市+メディア+協会の力を結集し、集客目標 7000 人を達成する。

レポート

東京サントリーサンゴリアス × Safeguard Global ACT Brumbies 戦の広告展開はテレビについては積極的な企画提案を構築してくれた STV 札幌テレビを中心に道内全局で大パブリシティ企画を実施。新聞は北海道新聞を軸に展開した。

グルメガーデン ラグビーを観戦しながら、北海道の食を楽しめ！



グルメガーデン

札幌ドーム 屋外テラス区

※五十種類（写真は提供イメージです）
※都合により出店内容が変更になる場合がございます

<p>【パン】 10円パン</p> <p>とろりとしたチーズと10円使用のフォルムが可愛い人気パン「カスタードマッシュコロン」</p>	<p>【ラーメン】 旭川ラーメン紅雲</p> <p>こだわりの札幌スープと旭川の醤油のキッコンチホンの絶妙なバランスにこだわった風味がたまらない。</p>	<p>【串揚げ】 小樽なると屋</p> <p>甲斐駒以上が種で焼しめし焼かれてる伝統の味をぜひご堪能ください！</p>	<p>【和食弁当】 フードトラックゆらぎ</p> <p>ニセウ野島の和食のキッチンカー！北海道の食育をテーマにこだわりのメニューを提供中。</p>
<p>【ソフトクリーム】 ましゅれ</p> <p>国産濃厚素材にこだわったキッチンカーのキッチンカー。濃厚なクリームとフルーツを堪能してください！</p>	<p>【いちごけしり、ホットチョコレート】 リトルジュースバー</p> <p>冷凍いちごをまるごとふわりふわに焼いたフロレンティンデザート！トッピングは北海道ミルクムース！</p>	<p>【ハンバーガー】 Foodtruck dazzling</p> <p>自家製低温焼成パンズのハンバーガー！焼きの美味しさを活かした新鮮な野菜を使用！</p>	<p>【ホットドック】 good time!</p> <p>今年6月にオーブンで焼かれたリトルジュースバーのホットドックは、特製ソースと特製ソースのHOTDOGだ！</p>
<p>【チキンオーブンライス】 OTARU BASE</p> <p>小樽の海軍にある、food&craft goods shopが特産オーブン！</p>	<p>【ピザ】 PIZZERIA DEL CAPITANO</p> <p>新鮮で焼き上げた、江別製粉の北海道産小麦100%のピザ。食材は産地イタリアや、北海道産！</p>	<p>【アルコール・ソフトドリンク】 ザントリードリンクコーナー</p> <p>ザンプレミアム・モルツで乾杯！その他、ソフトドリンクも充実！</p>	<p>本日開催 RUGBY GAME 東京サントリーサンゴリアス @ ACTブランビーズ</p> <p>cheers</p>

北海道の味覚が楽しめるキッチンカーメニュー

ミッション

ラグビーファンに敵味方は無い。ビールとフードで観戦もアフターマッチも国やチームを超え交流する時間と場を提供する。そして「食」という入口からラグビーを盛り上げる。

レポート

美味しいものを食べながらラグビー観戦できるのが北海道ラグビーの日！をコンセプトにグルメガーデンを企画。スポーツ観戦には飲食が必須と考え、今回も味に定評のあるキッチンカー10台を集め、ラグビー観戦の食を盛り上げました。試合前はもちろん、ハーフタイムにもたくさんのお客様が屋外会場に足を運んでいただき、営業時間 10～16時までたっぷりの楽しんでいただけました。

会場の中心には、大人気のラグビー体験コーナーを設置。目玉イベントとしては、北海道大学ラグビー部 OB の水曜どうでしょう藤村ディレクターと元日本代表真壁氏との「ラグビーどうでしょう」が開催された。

営業時間 10:00-16:00
お天気：曇り
キッチンカー：10台
来場者数：約 1500 人（ドーム来場者数の約 30%）



ラグビー体験コーナー 驚きと感動で、ファンを獲得せよ！



ミッション

初めて、楕円球に触れたり、相手にブチ当たったり、ラインアウトで持ち上げられた時の驚きや感動は言葉では表現できない。この驚きと感動を体験メニュー化し、ラグビーの普及とファンの獲得につなげる。



サンゴリアスの選手によるラインアウトキャッチ体験

レポート

数日前までの残暑からは一転し、冬が訪れたかのような冷たい風が吹く札幌ドーム屋外テラスにおいてラグビー体験を実施しました。このラグビー体験は北海道ラグビーフットボール協会札幌支部社会人クラブ委員会の14名のスタッフで担当しました。実施内容は、ラインアウト体験、コンタクト体験が中心で、寒い中ではありましたが、子ども達だけではなく、たくさんの大人達も参加してくれました。ラグビー未経験の方にとっては、ラインアウト体験で持ち上げられる高さから見る景色は初めてのものであったため、とても興奮している様子でした。また、ラグビー体験の後半からは、サントリーサンゴリアスの選手もスタッフとして加わりました。サンゴリアスの選手のファンサービス度は高く、子ども達にとっては素晴らしい思い出になったと感じています。札幌ドームでのラグビー体験は、7月22日の日本代表戦に引き続き2回目の実施で、ラグビーの魅力を伝える貴重な機会であったと感じました。今回のスタッフも札幌支部の様々な社会人チーム、クラブチームから集まり、ラグビーの魅力を伝えるために元気な声で盛り上げていました。所属チームの枠を超えた仲間意識は、ラグビー文化特有のものだと再認識しました。



体験コーナーのプロたち。所属チームを超えたスタッフワーク

餡子(あんこ)プロジェクト 低カロリーで糖質を補給せよ！



ミッション

小豆大国である北海道の餡子の力で、観客と選手に元気と満腹を与える。



月寒あんぱんは配布コーナーには、いつも行列ができるほどの人気

レポート

今年4回開催した「北海道ラグビーの日」では、すべての試合に月寒あんぱん株式会社ほんま様とサザエ食品株式会社様が協賛品のご協力をいただきました。

北海道は小豆の生産量日本一でもあります。だからこそ、北海道でラグビーと共に餡子文化もアスリートの必須アイテム商品として広げていければと考えています。今回も札幌の老舗菓子銘菓様のご協力により、応援コメントとピロ十勝大福と月寒あんぱん各200個の協賛品をいただき、無料で配布させていただきました。応援コメントのチラシを入れたことで、あんこプロジェクトの活動を知っていただけたと思います。

児童養護施設の子供をラグビーに招待するプロジェクト



ミッション

仲間を大切にするラグビーは、すべての人の心を救う力がある。

養護施設で暮らす子供をラグビーの試合に招待する。

レポート

羊ヶ丘養護園と柏葉荘の子供たちを試合に招待し、試合後はグラウンドで選手と交流する機会を設けた。参加した子供たちからは、「かっこよかった、大きかった」など気持ちの一杯詰まった手紙が届いた。

また上記の2園に加え、札幌育児園、興正学園、札幌南藻園にラグビーボールとゼリーを届けた。



ラグビーに参観したいしくて来て、
ありがとうございました。ラグビーを
参観したいけんできて
たのしかったです。あしおみれて
うれしかったです。またいつか参観して
さいごにしろたはひよにサイン
してもらってうれしかったです。
ごめいもがトシでくだすり。

ぴんぐいん ちんちん



観戦した子供たちから協会へのの手紙

ラグビー体験会 & 親子タグラグビー交流



ミッション

ビッグマッチと同じピッチで、親子一緒のラグビーを体験をしてもらい、ファン層やラグビー人口の拡大につなげる。

レポート

「北海道ラグビーの日」第1弾の交流試合、第2弾のエスコートキッズに続き、試合前イベントとして、これまではラグビースクール等、既にラグビーに触れている方を対象とした内容としていたが、第3弾として、普段ラグビーに触れていない子供達をターゲットとした体験会と、他の事業でタグラグビーを体験した方々を対象に、親子で参加出来る形の交流会を実施した。

体験会では3つのブースでパス、ラン、コンタクトといったメニューで札幌RS、北海道BB Jr 及び山の手RSのスタッフが、タグ交流会では江別RSのスタッフがそれぞれ担当し、それぞれにサンゴリアスのメンバーが加わり、非常に盛り上がった。

企画段階での遅れや協力要請の遅れなど、準備不足が否めない状況であったが、ご協力いただいた指導者の方々とサンゴリアススタッフの臨機応変な対応により、無事終えることが出来た。サンゴリアスグッズやおはぎとプレゼントも充実し、参加された方々からは、とても楽しかったとの感想を頂いている。



ビッグマッチが行われるピッチ上でのラグビー体験と親子タグラグビー

サンゴリアス・ブランビーズタイム



ミッション

観戦した子供たちが、出場選手と試合後のピッチで交流する機会をつくり、思い出をつくる。

レポート

試合後は、ラグビースクール・クラブに所属する選手を対象に、「サンゴリアス&ブランビーズタイム」として、試合後のグラウンド上で両チームの選手達からサインをもらうなど交流を行った。人数の関係上、高学年に絞りましたが、札幌ドームのグラウンドに出るのは貴重な体験でもあり、両チームのメンバーも親切で非常に好評であった。また、参加記念品として配付したステッカーのデザインも大変好評だった。

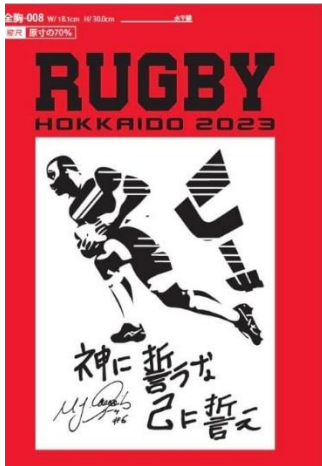


出場選手とファンが直接交流した、サンゴリアス・ブランビーズタイム



参加者にプレゼントされたステッカー

マイケル T シャツの販売 初の凱旋試合を盛り上げろ！



『この T シャツの胸に刻まれているのはリーチ選手が学生時代に友人から聞いて以来座右の銘にしている言葉です。文字は 2015 年にリーチ選手によって書かれたものです。』

また、T シャツのデザインは札幌南高校の美術部の生徒によるものです。

売上収益の一部は北海道のボーイズ&ガールズ&キッズへのラグビー普及のために活用されます。

サイズは XS～4XL まで。税込価格 3,000 円。』

当協会よりの案内文より

ミッション

札幌ドームで開催された日本代表対サモア代表において、北海道の地で初めて日本代表として出場するリーチ・マイケル選手の札幌初凱旋を、北海道を挙げて応援する。

レポート

ラグビーオンライン、協会 HP、全国高体連、デイゴラグビースクール（沖縄県）代表 銘苅氏など多くの協力を得て全国展開することが出来た結果、2000 枚以上を販売できました。札幌南高校美術部にデザインを依頼したことで話題性もあり、販売数を伸ばす要因となった。

反省としては、日本代表戦においては代表ジャージでの応援スタイルが確立されているため、当日の販売数が思うほど伸びなかったことが挙げられる。加えて日本協会メインスポンサーの権益保護のため、札幌ドーム会場内での販売が出来なかったことも販売初期のスタートダッシュにはマイナス要因となった。

また 1 枚単価 3000 円を安価にする努力も必要であった。

予約販売をメインし、在庫を残さないような販売戦略も検討が必要である。

協会アンバサダー就任 力強い味方をゲットせよ！

ミッション

ラグビーと北海道を象徴する力強い人材を味方につけて、「北海道ラグビーの日の魅力」を広める。

レポート

北海道のラグビーフットボールを盛り上げていくため、札幌山の手高校出身で現役日本代表選手のリーチ・マイケルさんと、元北海道大学ラグビー部主将で、HTB 北海道テレビ放送の人気番組「水曜どうでしょう」藤村忠寿ディレクターに北海道ラグビーフットボール・アンバサダーに就任頂き、記者発表を行った。

就任記者会見での、リモート出演のリーチ選手と藤村D



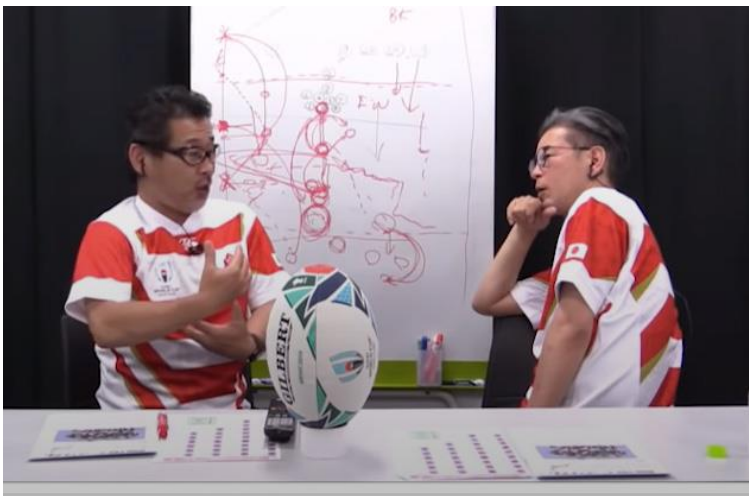
リーチ・マイケル選手・・・

「北海道ラグビーに恩返しをしたい。道内の子供たちのにラグビーをやりたいと思う人が増えるように頑張りたい」

藤村忠寿ディレクター・・・

「やっても、観ても面白いラグビー！ YouTubeで普通の人にわかりやすく説明するようなことをやっていければ」

今後二人がどのように北海道ラグビーを応援してくれるのかご期待ください。



ラグビーの面白さを分かり易く熱弁する藤村D

ワールドカップパブリックビューイング@札幌ドーム、旭川コクゲキ



試合チケットのアイコン



チリ戦@札幌ドーム



アルゼンチン戦@旭川ドーム ICT パーク コクゲキ

ミッション

ワールドカップフランス大会の日本 VS チリ戦と日本 VS アルゼンチン戦の 2 試合を、北海道から応援するため、札幌ドームを大型ビジョンを使った無料応援会場にする。

レポート

日本 VS チリ戦

開催日時 2022.09.10 日本時間 20:00 キックオフ
開催場所 札幌ドーム
来場者数 1860 人

- ・新モードでパブリックビューイング実施
- ・スクリーンサイズ 幅30m 天地17m
- ・飲食店など6店出店
- ・実況 高田まゆみ (HTB アナウンサー)、解説 丹羽政彦(協会競技委員長)



日本 VS アルゼンチン戦

開催日時 2023.10.08 日本時間 20:00 キックオフ
開催場所 札幌ドーム
来場者数 3010 人

- ・既存のビジョン2面作成して実施
- ・飲食店など6店出店
- ・ゲスト出演 藤村忠寿 (HTB「水曜どうでしょう」ディレクター)



開催場所 旭川 ICT パーク コクゲキ
来場者数 110 人

- ・220 インチの大型スクリーン
- ・大雪カムイミントラ DMO との共催